第16回 マリンハザード研究会のご案内

神戸大学大学院海事科学研究科
津波マリンハザード研究講座

皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
第16回マリンハザード研究会について、ご案内申し上げます。
「マリンハザード」とは海で起こり得る様々な危険事象で、災害を引き起こしたり、自然環境に影響を及ぼす可能性があります。本研究会は2007年に「海事防災研究会」として発足し、2020年度から「マリンハザード研究会」と改名しました。レジリエンスの高い社会作りに貢献するため、津波を始めとする様々なマリンハザードや自然災害に対する船舶・港湾防災、海洋環境影響など、幅広いトピックスを扱ってきました。行政機関、海事関係企業・団体、教育・研究機関などから、多数のご講演とご参加を頂いて参りました。
今年度は、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」について報告を行います。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。多数の方にご参加頂き、多面的なご助言、ご提案を頂戴できれば幸甚です。

開催方法：ZOOM（以下から事前登録して下さい）
https://kobe-u-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZYqdemupjwiHtxeVE-66QdLwwZPIn8aaYM0
・ご登録のメールアドレスに、当日の接続情報が自動送信されます。
・発表資料は、研究会中にチャット機能により配布します。
・オンラインのみの開催で、後日の配信、資料配付は行いません。

2024年3月18日（月） 16:00-17:30
開会挨拶・趣旨説明
林美鶴（神戸大学　内海域環境教育研究センター／大学院海事科学研究科）

（インタビュー；招待）令和6年能登半島地震による七尾港の状況（仮題）
寺井妙子（北陸曳船　取締役／統括本部長）

（招待講演）令和6年能登半島地震津波の解析
越村俊一（東北大学災害科学国際研究所／神戸大海事IMARC）

（招待講演）能登半島地震と地殻流体
後藤忠徳（兵庫県立大学大学院理学研究科）

閉会挨拶
林美鶴

問合せ：林美鶴　mitsuru@maritime.kobe-u.ac.jp

当研究会は、神戸大学都市安全研究センター「東北大学等との連携による震災復興、並びに災害科学分野における学術研究の支援経費」により実施しています。

「津波マリンハザード研究講座」は（公財）住友電工グループ社会貢献基金「大学講座寄付」により設置された研究講座です。研究成果を　http://blog.canpan.info/marhazard/　で公開しています。